

道徳学習指導案（キャリア教育）

展開日時
展開学級
展開場所
授業者

平成23年11月15日
幸町第三小学校 1年3組
自教室
金子 泰子

1 単元名 たいせつな じぶん

2 単元について

単元観

自分がかげがえのないたった一人の人間であり、この世に生を受けた時から多くの人間が、見守り、愛し、慈しんでくれていると知ることは、これからの自分の生きるエネルギーとなり、大きな心の支えとなっていくだろう。その「かけがえのない自分」を、よりよく生かすためには、どうしたらいいのか、どうあることがよいか、人が生涯をかけて行う「自分探しのたび」への第一歩を踏み出すきっかけにしていきたい。

そのために、道徳の時間を中核にして、子どもたちが自分に向けられた思いを感じながら、よりよく生きていく自分の姿を描かせていきたいと考える。主として自分に関わる題材を取り上げて、自己理解・自己管理能力や人間関係形成・社会形成能力などを育てていくために生活科、国語科、学級活動などの教科・領域を組み入れながら、子どもの思いを深め、実践し、さらに発展していけるように組んでいくことにする。

子どもたちの心を、「自分を好き」「自分は愛されている」「自分はかけがえのない存在である」という自信と勇気で思い切り膨らませていきたい。

子どもの実態

- 男子 19名 女子 15名 計 34名
- 明るく元気だが、なかなか落ち着いて学校生活を送ることができない。
- 自分の思いを自信をもって友だちの前で発表することが苦手である。

教師の思いや願い

- 自分の命を大切に思い、生きる喜びや感謝の気持ちをもってほしい。
- 自分の思いを相手に分かりやすく話したり、相手の話を聞いたりできるようにしたい。


たいせつな じぶん

単元としての価値

1年生の子どもたちは、少しずつ自分のことを客観的に見えるようになっていく。だが、まだ周りの人との関わりを意識することは、なかなかできるようにならない。

そこで、この世に生を受けた時から多くの人に見守られながら育ってきたことを知り、感謝の気持ちと共に、自分の大切さを感じることで、自分がかげがえのないたった一人の人間であるという自尊感情をもたせたいと考えた。

3 単元の概観




〈国語〉(2時間)
「ぼくわたしの
すきなことは」

【生命尊重意識】【人間関係形成・社会形成能力】
〈道徳〉(3時間)
「たからものはかがみのなかに」3-(2)
・家族に愛されている自分、家族にとって宝物である
自分をあらためて感じる。
「たいせつな じぶん」3-(1)〈本時〉
・自分の誕生を周囲の人々が待ち望み、生き方の願いを
こめて名前が贈られていることを知る。
「いのちは たからもの」3-(1)
・命が、かけがえのないものであることを感じ、力いっ
ぱい生きて輝かせようとする。

〈生活科〉(14時間)
「あくしゅ大作戦」
「名人をさがそう」
「わたしのじまん」

〈学級活動〉(3時間)
「たのしいなつやすみ」「わたしは、だれでしょう」
「3組にいてくれてありがとう」



4 単元のねらい

教科での目標

<道徳>

- ・自分のいのちがかけがえのないものであることを感じ、大切にしようとする心をもつ。 3-(1)
- ・自分を支えている家族の存在を知り、感謝の心をもつ。 4-(3)

<学級活動>

- ・友だちのよいところを見つけ、励ましあったり、助け合ったりすることで、望ましい学級集団をつくる。
- ・自分のよさに気づき、学級における自己の存在感を高める。

<国語>

- ・得意なことや好きなことをみんなの前で話すことができる。

<生活>

- ・学校の施設、先生や友だちなどに関心をもち意欲的に関わろうとすることができる。
- ・多くの人の支えにより大きくなったことが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ち持つとともに、これからの成長への願いをもって意欲的に生活することができるようにする。

⇔

キャリア教育の視点からの目標

<自己理解・自己管理能力>

- ・自分の存在がかけがえのないものであることを知り、大切にしようとする心をもつ。

<人間関係形成・社会形成能力>

- ・自分の好きなもの、大切なものをもつ。
- ・自分を支えている人に感謝する。
- ・自分の考えをみんなの前で話す。

<課題対応能力>

- ・自分ができるようになるためには、どのようにすればよいのか考えることができる。

<キャリアプランニング能力>

- ・自分ができるようになりたいことの実現に向けて努力していかようとする。

<生命尊重意識>

- ・自分の存在が、かけがえのないものであることを知り、大切にしようとする心をもつ。

5 単元の展開計画（総時数22時間）

過程	教科等	学習活動	指導	キャリア教育で育む力
ステップ1	国語(2)	「ぼく、わたしの好きなことは」 ・自分の好きなこと、好きなものをいうことができる。	・絵や具体物を持って話すことで、聞き手に内容が伝わりやすくなるようにし、話すことへの抵抗を和らげていく。	◎人間関係形成・社会形成能力 ◎自己理解・自己管理能力 ・自分の気持ちをわかりやすく話す。
	生活(4)	「あくしゅだいさくせん」 ・学校の先生方に自分のことを知ってもらい、仲良しになる。	・互いに名刺を用意して、自分のことを話すことができたなら交換するように約束する。事前に友達や親を相手に練習しておく。	◎人間関係形成・社会形成能力 ◎自己理解・自己管理能力 ・身近な人々に興味をもち、積極的に関わる。
	学活(1)	「なつやすみにがんばること」 ・夏休みにやってみたいこと・できるようになりたいことは何かを考える。	・初めての長期休暇を過ごすにあたり、自分が伸ばしたい・できるようになりたいと願っていることへの取り組み方を考える。	◎自己理解・自己管理能力 ・自分の好きなもの、大切なものを持ち、よいと思うことに進んで取り組む。
ステップ2	道徳(1)	「たらからものは かがみのなかに」3-(2) ・家族に愛されている自分、家族にとって宝物である自分に気づく。	・今、生きていることに喜びを感じ、たったひとつの自分の命を大切にすることを育てる。	◎生命尊重意識 ・自分を支えている家族に感謝する。(家族愛)
	学活(1)	「わたしは、だれでしょう」エンカウンター ・友達の得意なこと、よいところから、それが誰なのかを話し合う。友達から見た自分のよさを知り、自信をもつ。	・新しいゲームを交えながら、友だちの輝き探しをする。よいところ見つけは、形に変化をもたせながら年間を通して取り組むようにする。友だちから自分のよさを指摘されることで自尊心を育てる。	◎人間関係形成・社会形成能力 ・友だちのよい所を見つけ、励まし合ったり、助け合ったりする。

過程	教科等	学習活動	指導	キャリア教育で育む力
ステップ2	道徳	「たいせつな じぶん」 3－(2)〈本時〉 ・自分の誕生を周りの人々が待ち望み、願いをこめて名前がつけられていることを知る。	・名前のもつ意味や誕生を心待ちにしていた親からの手紙を読むことで自分によせられる思いを感じることができるようにする。	◎生命尊重意識 ・生きることを喜び、命を大切に する心をもつ。
	生活(6)	「名人を さがそう」 ・自分の周りにはいろいろな特技を持つ人々がいることに気づき、これからの自分の目標にする。	・自分の周りで自分にいろいろなことを教えてくれる先生を探し、自分が多くの人に支えられていることに気づくと共に、人々が誇りをもって仕事についていることに気づく。	◎人間関係形成・社会形成能力 ・自分の生活を支えてくれている人に感謝する。 ◎キャリアプランニング能力 ・身近な人々の様子が分かり、興味・関心をもつ。
	生活(4)	「じまんたいかいを しよう」 ・1年間でできるようになったこと、上手になったことを発表しあい、互いの成長を喜ぶ。	・自分ができるようになったことを多面的に考え、自信をもって発表できるように支援する。学級全体で成長を喜ぶ雰囲気をつくる。	◎自己管理・自己管理能力 ・自分のよいところを見つける。
ステップ3	学活(1)	「3組にいてくれてありがとう」 ・友だちのよいところを見つけ、一人ひとり、自分がかげがえのないクラスの一員であることに誇りをもつ。	・自分の長所や特技を友だちから指摘されることで自信を深め、学級への存在感を深めることができるようにする。	◎人間関係形成・社会形成能力 ・友だちの気持ちや考えを理解しようとする。
	道徳(1)	「いのちはたからもの」 3－(2) ・命が何のものにも代えられないからであるあることを感じ、力いっぱい生きること輝かせようと思えることができる。	・かけがえのないただ一人の自分に気づき、将来への夢をもてるようにする。 ・自分と共に生きる周りの人々も大切にしようとする気持ちをもつ。	◎生命尊重意識 ・生きていることを喜び、自分が生きていることを心から喜んでいる人がいることを知る。

6 本時の指導（10／22）

資料「はじめての プレゼント」 3－（1） （自作資料）

（1）教科の目標

- 名前には周囲の人々の願いがこめられており、大切にしようとする思いを育てる。
- 自分に寄せられている大きな思いを感じ、生きていることに喜びをもつ。

（2）キャリア教育の目標

- ☆自分の好きなもの、大切なものをもつ。 【人間関係形成・社会形成能力】
- ☆自分の命はかけがえのないものであると感じ、大切にしようとする。【生命尊重意識】

過程	学習活動と内容	教師の支援(○)キャリアの目標(☆)評価(◎)
導入	1. 自分の知っている名前で、いいなと思う名前がありますか？ ・『銀河』っていう名前がかっこいいな。 ・『ファニー』がかわいくていいな。	○自分の経験と重ね合わせ、本時の内容に迫る。
展開	2. 話を聞いて、気づいたことや、思ったことを発表する。 ①拓人君が泣きじゃくる場面まで ・拓人君がかわいそう。 ・かわいそうだから、名前を変えてあげればいいのに。 ・人の名前の悪口を言うのはいけないよ。 ②お父さんの話を聞いて ・いやだと思っていたけど、いい名前でもよかったね。 ・私の名前もこういう意味だって聞いたことがあるよ。	○話を場面絵であらわし、子どもが理解しやすいように話を途中で切って与えていく。 ○自分の名前を悪くいわれて泣きじゃくる拓人君の気持ちに共感できるようにしていく。 ◎自分の名前を悪くいわれて悲しむ拓人君の気持ちに共感しようとしているか。 ○名前には、家の人の思いや願いがこめられていることを知らせる。 ○人の名前が単なる呼称ではなく、一人一人の名前に大切な意味や願いがあることを知る。
開	3. 自分の名前にこめられた家の人の思いを知る。 ・自分の名前にも素敵な理由があってうれしい。 ・みんなが、自分の生まれたことを喜んでくれている気持ち。 ・友だちの名前にも大切な気持ちがこめられているから、からかったり変な呼び方で呼んだりしてはいけない。	○自分の名前にも、家の人の思いや願いがこめられていることに気づくようにする。 ◎自分の名前に多くの思いが寄せられていることを知り、多くの人に望まれ、支えられて生きていることを喜んでいるか。 ☆自分を支えてくれていることを喜ぶとともに、その思いに報いるためにも、大きくなったらどうありたいか、何になりたいか考えるようにしていく。
終末	4. 家の人に手紙を書く。 ・素敵な名前をつけてくれてありがとう。 ・名前のような人になるようにがんばるね。 ・大事にしてくれてありがとう。	○お手紙を書いてくれた家の人の気持ちを汲みながら返事を書くように話す。 ◎うれしい気持ちを手紙に表現しようとしているか。 ☆名前の由来を知ることによって、自分がこれからとるべき行動を考える。